

# 事業の実施評価指標

ビジョン達成のプロセス(具体的取組)		26年度		27年度		28年度		29年度		30年度			
		今年度の取組 (年度末目標)	指標	今年度の取組 (年度末目標)	指標	今年度の取組 (年度末目標)	指標	今年度の取組 (年度末目標)	指標	今年度の取組 (年度末目標)	指標		
Ⅲ組織的な仕組みづくり・基盤整備	①事務職員の役割・位置づけの明確化を検討する。	a. 校内事務部門の役割・位置づけのモデル案を検討し、提案する。	歩進	・校務分掌モデル案に事務部門を位置づけるよう校内で働きかける。 ・事務経営案の作成について働きかける。	進捗	・各校で校務分掌モデル案を提案した(7割) ・事務経営案を作成できて(6割)	進捗	・各校の校務分掌表における事務部門の位置づけについて調べる。 ・事務経営案の作成状況について調べる。	進捗	・各校の校務分掌モデル案を提案し事務部門が位置づけられる(5割) ・事務経営案を作成できて(8割)	進捗	・学校管理規則上に事務職員の役割が明確化できているか調べ見直し案を作成する。 ・関係機関と協議し見直し案について検討する。	
			成果	・校務分掌モデル案ができてい る。 ・事務部門の定義が理解でき ている。(7割)	成果	・各校で校務分掌モデル案を提案し事務部門が位置づけられる(7割) ・事務経営案を作成できて(約10割)	成果	・各校で校務分掌モデル案を提案し事務部門が位置づけられる(7割) ・事務経営案を作成できて(約10割)	成果	・学校管理規則上に事務職員の役割が明確化できているか調べ見直し案を作成する。 ・関係機関と協議し見直し案について検討する。			
	②業務削減、平準化、効率化に取り組む。	a. 県教委等の関係機関と連携し、実践的取組を全県に展開する。	進捗	・1年目の目標を設定して取り 組む。	進捗		進捗		進捗		進捗		
			成果	・取組目標の達成度を評価し、 次年度に活かす。	成果	具体的には、今後の県教委との調整によって変更する。						成果	
	b. 共同実施業務についても、更なる業務削減や効率化につながる取組を進める。	進捗		進捗	・東中西責任者会ごとの効 率化の現状を把握する。	進捗	○県共同実施責任者会の立ち上げによる業務削減・効率化の実践	進捗		進捗		進捗	
成果			成果		成果		成果	具体的には、責任者会で取組を進める。					
③行動マップ、共同実施ガイドの改訂、支援ツールを作成し、活用する。	a. 学校運営の参画や個人の能力発揮、共同実施の効果的な運営のため、行動マップ・共同実施ガイドの改訂、必要に応じてその他の支援ツールを作成し、活用する。	進捗	・社会の変化に対応した学校運営への参画や人材育成の視点を組み込んだ共同実施運営となるよう改訂する。	進捗	・共同実施ガイドの役割の見直し(共同実施組織内の事務職員の資質向上部分の強化) (例) ・個人の実践的取組の確認(事務経営案の作成確認(自己申告書にも通じる)研修履歴の確認及び研修報告 ・共同実施ガイドの改訂項目をリストアップする。	進捗	・とりビジョンと共同実施ガイド及び行動マップの関係を整理し必要があれば改訂する。	進捗	・行動マップと職位ごとの役割をすり合わせて、課題を整理する。	進捗		進捗	
		成果		成果	・共同実施ガイドの改訂版完成	成果		成果	・行動マップの改訂版完成 ・改訂共同実施ガイドの各様式の活用度(6割以上)	成果	・改訂共同実施ガイドの各様式の活用度(7割以上)	成果	・改訂共同実施ガイドの各様式の活用度(8割以上)
④知事部局等からの転入者、新規採用者を支援する体制をつくる。	a. 知事部局からの転入者、新規採用者配置校の事務機能をサポートする仕組みをつくる。	進捗	・27年度初任者に対するオリエンテーションの内容の確認を行う。	進捗	・年度当初に初任者に対するオリエンテーションを行う。 ・支援体制について状況を情報収集し、効果的な方法を検討する。	進捗	・効果的な方法について、全県で情報を共有する。	進捗	・支援体制の実施 ・共同実施組織に有効性調査	進捗	共同実施組織に有効性調査	進捗	共同実施組織に有効性調査
		成果		成果		成果	・転入者・新採用者の不安が解消されている。(6割) ・責任者の負担感が解消されている。(6割)	成果	・転入者・新採用者の不安が解消されている。(7割) ・責任者の負担感が解消されている。(7割)	成果	・転入者・新採用者の不安が解消されている。(8割) ・責任者の負担感が解消されている。(8割)	成果	・転入者・新採用者の不安が解消されている。(8割) ・責任者の負担感が解消されている。(8割)
⑤PDCAを実施し、次年度の計画を立てる。	a. すべての取り組みに対して5年間の年次計画を作成し、毎年成果の確認・評価を行い、次年度に活かせる仕組みや体制を整える。	進捗	・具体的な行動がイメージできるようとりビジョンと仕事をつなぐ。(現状の立ち位置を確認する)	進捗	・とりビジョンをもとにステップアップした取組を促す。(次のステップの仕事にチャレンジする)	進捗	・とりビジョンをもとにした取組の定着を図る。(ステップアップした役割を定着させる)	進捗	・とりビジョンの成果を確認し、改訂作業を始める。(ビジョンに描いた姿の達成度を測る)	進捗	・とりビジョンの成果を確認し、改訂作業を始める。(ビジョンに描いた姿の達成度を測る)	進捗	・次のステージに向けた課題を探り、とりビジョンを改訂する。(成果と課題を整理し、とりビジョンを改訂する)
		成果	・各部の取組の進捗管理ができてい る。 ・全員研修会で事業評価と来年度実行策(案)を説明する。 ・2月の役員会で事業評価と来年度実行策の提案ができてい る。 ・県大会で具体的な取組をビジョ ンに落とし、個人が自分の立ち 位置を確認できる。(8割)	成果	・個人がステップアップした 目標設定をしている。(8割)	成果	・27年度の目標に向かって行動している。(8割)	成果	・個人が成長を感じ描いた姿に近づいていると感じている。(8割)	成果	・個人が成長を感じ描いた姿に近づいていると感じている。(8割)	成果	・職位による役割を果たしていると感じている。(8割) (学校を要する方になってい ると感じている)